

② 歳出

各款別歳出決算の状況は、次のとおりである。

第1款 議会費

(単位：円、%)

年度	予算現額 A	支出済額 B	予算現額と 支出済額と の比較 A－B	翌年度繰越額 C
				継続費 通次繰越
22	982,795,000	931,495,259	51,299,741	0
21	998,245,000	944,583,668	53,661,332	0
対前 年度 比	金額 △ 15,450,000	△ 13,088,409		0
	率 △ 1.5	△ 1.4		0

年度	翌年度繰越額 C		不用額 A－B－C	執行率 B／A
	繰越明許費	事故繰越		
22	0	0	51,299,741	94.8
21	0	0	53,661,332	94.6
対前 年度 比	金額 0	0	△ 2,361,591	
	率 0	0	△ 4.4	

支出済額は9億3,150万円で、前年度に比べ1,309万円(△1.4%)減少している。

第2款 総務費

(単位：円、%)

年度	予算現額 A	支出済額 B	予算現額と 支出済額と の比較 A－B	翌年度繰越額 C
				継続費 逡次繰越
22	55,606,854,313	54,375,020,662	1,231,833,651	0
21	45,905,365,012	44,617,637,020	1,287,727,992	0
対前 年度 比	金額	9,701,489,301	9,757,383,642	0
	率	21.1	21.9	0

年度	翌年度繰越額 C		不用額 A－B－C	執行率 B／A
	繰越明許費	事故繰越		
22	182,772,837	182,572,500	866,488,314	97.8
21	676,898,873	0	610,829,119	97.2
対前 年度 比	金額	△ 494,126,036	182,572,500	255,659,195
	率	△ 73.0	皆増	41.9

支出済額は543億7,502万円で、前年度に比べ97億5,738万円(21.9%)増加している。

増減の主なものは、次のとおりである。

(増加した科目・金額)

総務管理費 111億4,413万円 市町振興費 9億5,010万円

(減少した科目・金額)

徴税費 28億 657万円 防災費 2億2,185万円

繰越明許費1億8,277万円の主なものは総務管理費1億3,094万円で、県有施設の省エネ診断改修にかかる工事費等の繰越であり、事故繰越1億8,257万円の主なものは企画費1億7,198万円で、主に放射線監視設備整備事業に伴う備品購入経費の繰越である。

不用額の主なものは、総務管理費5億3,200万円、企画費1億4,357万円および防災費9,487万円である。

第3款 民生費

(単位：円、%)

年度	予算現額 A	支出済額 B	予算現額と 支出済額と の比較 A－B	翌年度繰越額 C
				継続費 遞次繰越
22	40,771,476,050	39,507,951,179	1,263,524,871	0
21	42,671,272,000	41,791,728,545	879,543,455	0
対前 年度 比	金額 △ 1,899,795,950	△ 2,283,777,366		0
	率 △ 4.5	△ 5.5		0

年度	翌年度繰越額 C		不用額 A－B－C	執行率 B／A
	繰越明許費	事故繰越		
22	603,579,000	0	659,945,871	96.9
21	323,269,000	64,463,050	491,811,405	97.9
対前 年度 比	金額 280,310,000	△ 64,463,050	168,134,466	
	率 86.7	皆減	34.2	

支出済額は395億795万円で、前年度に比べ22億8,378万円(△5.5%)減少している。

増減の主なものは、次のとおりである。

(増加した科目・金額)

児童福祉費 18億 96万円

(減少した科目・金額)

社会福祉費 42億7,508万円

繰越明許費6億358万円の主なものは、社会福祉費3億6,845万円および児童福祉費1億8,735万円で、主に施設整備に伴う補助金等の繰越である。

不用額の主なものは、社会福祉費3億3,408万円および児童福祉費2億7,597万円である。

第4款 衛生費

(単位：円、%)

年度		予算現額	支出済額	予算現額と 支出済額と の 比 較	（単位：円、％） 翌年度繰越額 C
		A	B	A－B	継続費 通次繰越
22		28,046,290,000	24,725,627,565	3,320,662,435	2,820,759,000
21		38,906,845,040	34,668,797,718	4,238,047,322	3,716,764,000
対前 年度 比	金額	△ 10,860,555,040	△ 9,943,170,153		△ 896,005,000
	率	△ 27.9	△ 28.7		△ 24.1

年度	翌年度繰越額 C		不用額 A－B－C	執行率 B／A
	繰越明許費	事故繰越		
22	39,512,000	17,214,000	443,177,435	88.2
21	56,600,000	0	464,683,322	89.1
対前 年度 比	金額	△ 17,088,000	17,214,000	△ 21,505,887
	率	△ 30.2	皆増	△ 4.6

支出済額は247億2,563万円で、前年度に比べ99億4,317万円(△28.7%)減少している。

増減の主なものは、次のとおりである。

(増加した科目・金額)

公衆衛生費 16億4,347万円

(減少した科目・金額)

医薬費 99億9,845万円 環境衛生費 15億7,699万円

継続費繰次繰越28億2,076万円は環境衛生費25億4,483万円および医薬費2億7,593万円で、主に施設整備に伴う工事費の繰越であり、繰越明許費3,951万円は公衆衛生費2,297万円および環境衛生費1,654万円で、主に県有施設の機器整備費の繰越である。

事故繰越1,721万円は環境衛生費967万円および医薬費754万円で、主に施設整備に伴う補助金の繰越である。

不用額の主なものは、公衆衛生費2億961万円および医薬費1億6,371万円である。

第5款 労働費

(単位：円、%)

年度		予算現額	支出済額	予算現額と 支出済額と の比較 A－B	翌年度繰越額 C
		A	B		継続費 通次繰越
22		7,753,544,000	7,301,730,958	451,813,042	0
21		10,485,732,000	10,005,066,838	480,665,162	0
対前 年度 比	金額	△ 2,732,188,000	△ 2,703,335,880		0
	率	△ 26.1	△ 27.0		0

年度	翌年度繰越額 C		不用額 A－B－C	執行率 B／A
	繰越明許費	事故繰越		
22	0	0	451,813,042	94.2
21	0	0	480,665,162	95.4
対前 年度 比	金額	0	△ 28,852,120	
	率	0	△ 6.0	

支出済額は73億173万円で、前年度に比べ27億334万円（△27.0%）減少している。

減少の主なものは、労政費26億5,992万円である。

不用額の主なものは、労政費4億2,885万円である。

第6款 農林水産費

(単位：円、%)

年度	予算現額 A	支出済額 B	予算現額と 支出済額と の比較 A－B	翌年度繰越額 C
				継続費 逡次繰越
22	44,119,951,000	36,623,743,008	7,496,207,992	0
21	44,535,372,450	40,863,820,487	3,671,551,963	0
対前 年度 比	金額	△ 415,421,450	△ 4,240,077,479	0
	率	△ 0.9	△ 10.4	0

年度	翌年度繰越額 C		不用額 A－B－C	執行率 B／A
	繰越明許費	事故繰越		
22	7,142,724,863	41,510,000	311,973,129	83.0
21	3,500,545,250	27,746,750	143,259,963	91.8
対前 年度 比	金額	3,642,179,613	13,763,250	168,713,166
	率	著増	49.6	著増

支出済額は366億2,374万円で、前年度に比べ42億4,008万円(△10.4%)減少している。

増減の主なものは、次のとおりである。

(増加した科目・金額)

畜産業費 6,864万円

(減少した科目・金額)

林業費 27億2,583万円 農地費 10億 264万円

繰越明許費71億4,272万円の主なものは、農地費40億1,975万円、林業費21億3,062万円および水産業費6億8,689万円で、主に土地改良事業や林道・治山事業に伴う工事費等の繰越であり、事故繰越4,151万円の主なものは農地費3,400万円で、土地改良事業等に伴う工事費の繰越である。

不用額の主なものは、農業費2億247万円および水産業費6,003万円である。

第7款 商工費

(単位：円、%)

年度	予算現額 A	支出済額 B	予算現額と 支出済額と の比較 A－B	翌年度繰越額 C
				継続費 逡次繰越
22	59,708,893,000	50,333,578,595	9,375,314,405	0
21	50,112,718,000	46,763,544,208	3,349,173,792	0
対前 年度 比	金額	9,596,175,000	3,570,034,387	0
	率	19.1	7.6	0

年度	翌年度繰越額 C		不用額 A－B－C	執行率 B／A
	繰越明許費	事故繰越		
22	391,144,000	15,663,000	8,968,507,405	84.3
21	199,545,000	0	3,149,628,792	93.3
対前 年度 比	金額	191,599,000	15,663,000	5,818,878,613
	率	96.0	皆増	著増

支出済額は503億3,358万円で、前年度に比べ35億7,003万円(7.6%)増加している。

増減の主なものは、次のとおりである。

(増加した科目・金額)

商業費 48億4,032万円

(減少した科目・金額)

工鉦業費 13億4,170万円

繰越明許費3億9,114万円は主なものは、工鉦業費2億2,678万円および商業費1億5,584万円で、主に県有施設の大規模修繕にかかる工事費の繰越であり、事故繰越1,566万円は観光費で、主に目玉となる観光地づくり推進事業に伴う補助金の繰越である。

不用額の主なものは、商業費87億8,984万円である。

第8款 土木費

(単位：円、%)

年度	予算現額 A	支出済額 B	予算現額と 支出済額と の比較 A－B	翌年度繰越額 C
				継続費 繰次繰越
22	90,020,439,950	71,810,499,573	18,209,940,377	2,093,500,000
21	96,428,143,000	78,966,520,503	17,461,622,497	1,156,008,000
対前 年度 比	金額 △ 6,407,703,050	△ 7,156,020,930		937,492,000
	率 △ 6.6	△ 9.1		81.1

年度	翌年度繰越額 C		不用額 A－B－C	執行率 B／A
	繰越明許費	事故繰越		
22	15,558,113,000	0	558,327,377	79.8
21	15,360,053,200	274,646,050	670,915,247	81.9
対前 年度 比	金額 198,059,800	△ 274,646,050	△ 112,587,870	
	率 1.3	皆減	△ 16.8	

支出済額は718億1,050万円で、前年度に比べ71億5,602万円(△9.1%)減少している。

増減の主なものは、次のとおりである。

(増加した科目・金額)

土木管理費 11億8,644万円 港湾費 7億6,735万円

(減少した科目・金額)

河川海岸費 47億9,670万円 道路橋りょう費 31億4,101万円

継続費繰次繰越20億9,350万円は、道路橋りょう費13億200万円および河川海岸費7億9,150万円で、繰越明許費155億5,811万円の主なものは、道路橋りょう費95億1,340万円、河川海岸費35億2,374万円および都市計画費17億9,196万円であり、道路新設改良や河川改良などに伴う工事費等の繰越である。

不用額の主なものは、土木管理費1億7,186万円、港湾費1億1,149万円および住宅費1億282万円である。

第9款 警察費

(単位：円、%)

年度	予算現額 A	支出済額 B	予算現額と 支出済額と の比較 A－B	翌年度繰越額 C
				継続費 逡次繰越
22	22,990,108,000	22,818,362,600	171,745,400	38,911,000
21	23,345,825,000	23,126,105,137	219,719,863	0
対前 年度 比	金額 △ 355,717,000	△ 307,742,537		38,911,000
	率 △ 1.5	△ 1.3		皆増

年度	翌年度繰越額 C		不用額 A－B－C	執行率 B／A
	繰越明許費	事故繰越		
22	50,055,000	12,560,000	70,219,400	99.3
21	73,599,000	0	146,120,863	99.1
対前 年度 比	金額 △ 23,544,000	12,560,000	△ 75,901,463	
	率 △ 32.0	皆増	△ 51.9	

支出済額は228億1,836万円で、前年度に比べ3億774万円(△1.3%)減少している。

減少の主なものは、警察活動費2億4,090万円である。

継続費逡次繰越3,891万円は警察管理費で、福井警察署建設工事費の繰越であり、繰越明許費5,006万円は警察活動費で、主に信号機整備に伴う工事費等の繰越である。

事故繰越1,256万円は、警察活動費712万円および警察管理費544万円で、主に信号機の新設に伴う工事費の繰越である。

不用額は、警察管理費4,124万円および警察活動費2,898万円である。

第 10 款 教育費

(単位：円、%)

年度	予算現額 A	支出済額 B	予算現額と 支出済額と の比較 A－B	翌年度繰越額 C
				継続費 繰次繰越
22	97,816,259,071	96,606,646,127	1,209,612,944	0
21	91,624,114,000	90,675,285,310	948,828,690	0
対前 年度 比	金額	6,192,145,071	5,931,360,817	0
	率	6.8	6.5	0

年度	翌年度繰越額 C		不用額 A－B－C	執行率 B／A
	繰越明許費	事故繰越		
22	525,696,000	5,565,000	678,351,944	98.8
21	642,525,000	0	306,303,690	99.0
対前 年度 比	金額	△ 116,829,000	5,565,000	372,048,254
	率	△ 18.2	皆増	著増

支出済額は 966 億 665 万円で、前年度に比べ 59 億 3,136 万円（6.5%）増加している。

増減の主なものは、次のとおりである。

（増加した科目・金額）

保健体育費 50 億 2,925 万円 教育総務費 15 億 4,732 万円

（減少した科目・金額）

社会教育費 6 億 7,580 万円 小中学校費 3 億 4,879 万円

大学費 2 億 1,744 万円

繰越明許費 5 億 2,570 万円の主なものは、特別支援学校費 2 億 2,547 万円および高等学校費 1 億 6,172 万円で、主に教育施設の耐震化や改修等に伴う工事費等の繰越であり、事故繰越 557 万円は高等学校費で、実習船の定期点検にかかる経費の繰越である。

不用額の主なものは、教育総務費 2 億 5,259 万円、高等学校費 1 億 3,621 万円および小中学校費 9,767 万円である。

第 1 1 款 災害復旧費

(単位：円、%)

年度	予算現額 A	支出済額 B	予算現額と 支出済額と の 比 較 A－B	翌年度繰越額 C
				継続費 逡次繰越
22	471,256,000	174,577,210	296,678,790	0
21	260,543,000	209,392,354	51,150,646	0
対前 年度 比	金額	210,713,000	△ 34,815,144	0
	率	80.9	△ 16.6	0

年度	翌年度繰越額 C		不用額 A－B－C	執行率 B／A
	繰越明許費	事故繰越		
22	102,209,000	0	194,469,790	37.0
21	51,010,000	0	140,646	80.4
対前 年度 比	金額	51,199,000	194,329,144	
	率	著増	著増	

支出済額は1億7,458万円で、前年度に比べ3,482万円(△16.6%)減少している。

増減の主なものは、次のとおりである。

(増加した科目・金額)

土木施設災害復旧費 1,224万円

(減少した科目・金額)

農林水産施設災害復旧費 4,705万円

繰越明許費1億221万円は土木施設災害復旧費9,373万円および農林水産施設災害復旧費848万円で、主に河川等災害復旧に伴う工事費の繰越である。

不用額の主なものは、土木施設災害復旧費1億9,306万円である。

第 1 2 款 公債費

(単位：円、%)

年度	予算現額 A	支出済額 B	予算現額と 支出済額と の 比 較 A－B	翌年度繰越額 C
				継続費 繰次繰越
22	78,341,640,000	77,987,545,567	354,094,433	0
21	72,958,333,000	72,613,003,016	345,329,984	0
対前 年度 比	金額	5,383,307,000	5,374,542,551	0
	率	7.4	7.4	0

年度	翌年度繰越額 C		不用額 A－B－C	執行率 B／A
	繰越明許費	事故繰越		
22	0	0	354,094,433	99.5
21	0	0	345,329,984	99.5
対前 年度 比	金額	0	8,764,449	
	率	0	2.5	

支出済額は 7 7 9 億 8, 7 5 5 万円で、前年度に比べ 5 3 億 7, 4 5 4 万円 (7. 4 %) 増加している。

第 1 3 款 諸支出金

(単位：円、%)

年度	予算現額 A	支出済額 B	予算現額と 支出済額と の 比 較 A－B	翌年度繰越額 C
				継続費 逡次繰越
22	21,060,820,000	20,944,613,274	116,206,726	0
21	20,930,991,000	20,900,927,945	30,063,055	0
対前 年度 比	金額	129,829,000	43,685,329	0
	率	0.6	0.2	0

年度	翌年度繰越額 C		不用額 A－B－C	執行率 B／A
	繰越明許費	事故繰越		
22	0	0	116,206,726	99.4
21	0	0	30,063,055	99.9
対前 年度 比	金額	0	86,143,671	
	率	0	著増	

支出済額は 209 億 4,461 万円で、前年度に比べ 4,369 万円（0.2%）増加している。

増減の主なものは、次のとおりである。

（増加した科目・金額）

地方消費税清算金 2 億 3,055 万円

（減少した科目・金額）

自動車取得税交付金 1 億 437 万円

利子割交付金 5,970 万円

不用額の主なものは、地方消費税交付金 1 億 206 万円である。